

# ましまずの里



No. 5  
R元. 9. 13  
校長  
海老洋一

～自分で考え、みんなで学び合い、くらしを自分たちで考えてつくる子どもを育みます～

## 運動会スローガン「心を一つに 全力100%！」のふりかえり

＜9月11日の講話朝会で、子供達へ話をしました。＞

私は、2学期始業式の2日後、8月23日の運動会結団式でのみなさんの学習の様子が忘れられません。思わず、「みなさんは明日運動会をするのですか？」と尋ねてしまうほど、みなさんの運動会に向かうやる気と迫力を感じたからです。あれから2週間、各学級や学年で赤白に分かれて競い合い、自分がたし算の人になれるように、250名の全校生全員が、スローガンの「心を一つに 全力100%！」をいつもめざして、学習を進めていました。結果は、赤組の優勝、白組の準優勝、応援賞は赤組でした。結果は、受け止めなければいけません、私は赤組も白組も、競技・応援とも一人一人が本当に、しっかりと運動会学習をしていたと思っています。今日は大きく2つの話をします。1つ目は、各学年で運動会に向けて学習してきて、みなさんががんばって力がついてきたこと、2つ目は、今日からの高揃小学校のくらしづくりについてです。

**1年生：** 小学校で初めての運動会でした。応援学習では、ゴーゴーゴーの歌をすぐに覚えて、教室で赤白競い合って歌っていました。とても大きな声なので、職員室までよく聞こえました。ふりかえりの学習ではうれしかったこと、やさしかったこと、次ががんばることについて話し合いました。60m走をがんばって走ったこと、準優勝が取れてうれしかったけど、負けてやさしかったこと、応援賞をとられて泣きそうになったこと、2年生から教えてもらったまり入れの作戦を本番でできたこと、これからももっと心を一つにしたいという意見が出ていました。いろいろな気持ちを考えて話し合っていた1年生はすごく成長していると私は感じました。



**2年生：** まり入れの学習の時です。1年生に勝つための作戦を実によく考えて教えていました。まりは上から投げないで、下から投げて・かごの近くにいる人は小さいかごに下から投げて、外の人は大きいかごに上から投げて・まりがかごに入らなくてもすぐに拾って投げて・自分のまりがかごに入っても「入ったー」と言わないですぐに投げてと。私はまり入れに勝つ作戦として、どれもいい考えだなあと感心しました。そして、2年生の中には、「ぼくたちは、1年生に作戦を教えられることを学びました」と、ふりかえっている人もいました。それに気づいたこともすごいです。1年生に作戦を伝えたり、教えたりする力のある人が2年生にたくさんいることが、とてもうれしくなりました。



**3年生：** はじめての獅子踊りに挑戦した3年生。みなさんは2年生の3学期から、今の4年生から一生懸命に教えてもらって、何回も何回も学習していくたびに、踊りが上達してきました。右や左に体や布を動かしたりするのをみんなで合わせ、間違えないように、踊り込みました。運動会前の獅子踊り学習では、学習するたびに全体の動きがきれいにそろってきました。「左右を間違えないで一生懸命に覚えて踊ろう、高揃小学校の伝統である獅子踊りを引き継いで、守っていこう。」という気持ちが、3年生一人一人の心に育っていることを感じました。また、4年生から綱引きに勝つための技をたくさん教えてもらいながら、それを覚えて、正々堂々と4年生と一生懸命に学習している3年生の姿からみなさんの成長を感じました。



**4年生：** 4年生は、はじめて綱引きをする3年生のことを考えて作戦を立てて、競技と一緒に協力して取り組まないと勝つことができないとわかって、学習に取り組んでいました。つまり、4年生は、「姿勢や腰は低くして・綱をひねりながら引っ張って・綱を腰にくっつけて上を向いて引っ張って」、等と、3年生にわかるように声をかけて、一緒に取り組んだ綱引きの学習をしていたのです。どうしてそれができたのでしょうか。それは、去年、綱引きをした学習の経験があったからです。それがなければ、3年生に伝えたり、教えたりすることはできません。きっと、去年、教えてもらったことを一人一人がしっかり覚えていて、今回3年生に伝えることができたのだと思います。そうなのです。自分でしっかり学習したことは、自分の言葉で下級生に教えたり、伝えたりすることができるのです。4年生は、来年、高学年です。下の学年のことを考えて考えたり、教えたり伝えたりする学習が多くなります。そのために、4年生の毎日の学習にしっかり取り組んでください。

5年生：5年生全員が高学年として、自分のことをしっかりがんばろうとする学習の姿が見られました。例えば、100m走で順位が1位でなくても、ゴールまで全力100%で走ろうとする気持ちをもって学習に取り組んでいました。さらに6年生と一緒に、一人一役で、運動会学習に取り組んできました。**5年生のみなさんは、実によく6年生の考えをよく聞き、一緒に考えて、活動していました。また、応援学習では、「どうしたら自分の組のみんなが大きな声を出して、一生懸命に応援することができるか」ということについて、まずは5年生から手本を示そうと、応援団はもちろん、みんな声がかかるくらい応援している姿が毎日見られました。**私には5年生一人一人が、スローガンの「心を1つに 全力100%」を一人一人がしっかりと心に留め、活動している表れだと感じました。これからも、5年生全員が自分の持っている力が十分に発揮されるように、5年生みんなで積み上げていってください。



6年生：毎日の運動会学習がフル回転。100m走や騎馬戦、獅子踊りの太鼓や笛の演奏、リレーの選手、その他にも実行委員会・広報部・アナウンス部・看板部・会場部と、全ての役割を仲間と分担し、4年生や5年生をリードしながら、活動の中心になって、悩まながらがんばっていました。そして何より、スローガンに向けた運動会学習にしようと、すごくがんばって活動していました。そこが6年生の大変さです、難しさです。つまり、**運動会全体を動かす力、全校生全員を動かす力が求められましたが、みなさんは実によく、下級生のことを考えて学習をしていました。しかし、最初はどうもできなくても、活動をしていくうちに、がんばることや協力していくこと、工夫していくことがわかって、考えながら行動していく力がついたと私は思っています。**閉会式で、完全優勝した喜び、できなかったくやしき、両方の気持ちが表れた組頭の姿は今でも目に焼き付いています。喜びやくやしき、どちらもきっと忘れられないことでしょう。両軍とも運動会学習に一生懸命に取り組まなければ味わうことのできない、貴重な気持ちを、みんなで感じ、わかり合うことができたと思っています。6年生の運動会学習に向かう姿を、1年生から5年生はしっかり見ていました。来年からの高槻小学校運動会学習のめざすべき学習する姿を6年生は示してくれました。大きな拍手を送ります。

2つ目です。運動会学習は昨日のふりかえりの学習で終わってしまいました。しかし、今、私は、『みなさんの創りあげた運動会学習は、今日からも続いている。続けていかなければいけない。』と思っています。それは運動会学習で学んで、みなさんの力になってきていることを、今日からも続け、各学級各学年でも『心を1つに全力100%!』の思いを持ちながら、毎日のくらしをつくってほしいということです。これは決して、今日からも、赤組と白組に分かれて、競い合って、くらしをつくるということではありません。スローガンから考えてみました。まず、「心を1つに」ということについてです。**心を1つにするためには「まずは自分で考えて、自分のすべきことを最後まで責任を持って自分なりにしっかり行うこと、そしてさらに、自分の考えとは違う友達や仲間のこともわかってくらしをつくるのが大切」ということを運動会学習から学んだのですから、これからも続けてください。**次に、「全力100%」ということについては、「自分の全力100%を出すためには、自分のめあてをしっかり持って、毎日の学習に取り組むことが大切」ということを運動会から学んだのですから、これからも続けてください。

結びの話です。今日からも自分なりに考え、友達のこと考えながら、『なりたい自分』に向かって学習を進めていくこと、そしてたとえ間違っても失敗しても、今までの自分の考えを見つめ直したり、行動を直そうとしたりすること等、自分自身で、自分のことをもっとよくしていこう、これまでの自分をもっとよく変えていこうとする気持ちを持って学習に取り組んでください。その努力をし続けようとする人が、伸びる人、成長する人だと思っています。

一人一人が、毎日を自分でしっかりと考え、みんなで学び合い、高槻小学校のくらしをつくっていきましょう。

<保護者の皆様へ>

- ★昨年度まで毎年9月末の土曜日や日曜日の早朝に行っていた『PTA 奉仕作業』のスタイルを見直し、今年度は学年ごとに実施させていただいております。運動会準備は3年生保護者、片付けは4年生保護者でしたが、どちらも大勢参加してくださり、子ども達の活動を支えて下さいました。深く感謝申し上げます。
- ★今年の運動会の開会式と閉会式で、校長の話は行いませんでした。これまでの慣例を見直し、子ども達が主体となって学習している姿を十分に参観していただくこと、そして熱中症予防のため短時間で行うことをねらったことです。運動会学習は当日の学校行事としての学習だけではないという視点で、まじみずの里No.4でもお伝えしたように、結団式での校長の話、そして9月10日に全学年で運動会学習のふりかえりを踏まえて、全児童へこの紙面の内容を話したところです。ご理解をよろしくお願いいたします。